

社員総会議事録

公益社団法人 日本グラススキー協会

- 1 会議の種類 平成 23 年度定時社員総会
 - 2 召集年月日 平成 23 年 4 月 13 日
 - 3 開催日時 平成 23 年 5 月 20 日(金)午後 15:00~16:30
 - 4 開催場所 株式会社アルピオン B-1 会議室
 - 5 社員総数及び定足数 総数 39 名 定足数 26 名
 - 6 出席社員数 35 名(定足数充足)
- *本人出席(12 名) 小林英夫、三島木和晴、藤田洋一、高橋浩之、飛鳥井匠哉、萩生田博文
TeamDLWH、七ヶ宿 GSC、香川 GSC、スクアデリア、イーサム、サンパーク都留
- *委任状(23 名) 盛田英夫、豊野智広、根岸一之、根本章、新谷起世、中野聡、芦田直哉
江口文之、斑尾高原 GSC、サンパーク都留 GSC、石川 GSC、ジャパンファイヤー
Team 赤城芝スポーツ、Top&Tail、広島 GSC、天元台レーシング、Team-R
ダイチ、S-Jack、斑尾高原グラススキー場、中尾山高原グラススキー場
七ヶ宿スキー場、天元台高原
- *欠席(4 名) 重光昭夫、有泉勝利、中尾山高原 GSC、ふじてんリゾート
- 7 出席理事 小林英夫、三島木和晴、藤田洋一
 - 8 出席監事 井田敏夫、塚田耕一
 - 9 議長専任

定刻に至り司会者が開会を宣し、本日の社員総会は定数を満たしたので有効に成立した旨を
告げ、定款に則り代表理事小林英夫を議長とし、議長よりの挨拶の後、議案の審議に入った。

10 会議の概要

(1) 議事の審議状況及び議案別議決結果

第 1 号議案 平成 22 年度事業報告・H22 年度収支決算について

議長の指名により藤田理事から同案について説明があった。

グラススキーの更なる普及を目指したステップアップ(体験会、講習会、技術検定会他)等の
普及事業。グラススキーヤーの育成、強化事業として国内 A 級大会(全日本選手権・高円宮牌)、
B 級大会、都留市ジャパンジュニア、テクニカル選手権他の開催。国際協力としてジュニア世界
選手権(イラン)・チルドレンキャンプ(イタリア)への代表選手派遣、国際会議への役員派遣他各
事業についての報告説明及び平成 22 年度収支決算について説明があった。引き続き監事井田
敏夫から平成 22 年度決算(平成 22 年 4 月 1 日から平成 23 年 3 月 31 日まで)に関する監査
報告があった。議案内容に関連しての審議があり審議の結果、「平成 22 年度事業報告・H22
年度収支決算」について満場一致をもって承認した。

サンパーク都留:昨年の都留市ジャパンジュニア大会における表彰対象(文部科学大臣賞)の変更は
どの様に行われたのか。

藤田：昨年の大会会場でもご説明させていただきましたが、都留市ジャパンジュニア大会への文部科学大臣賞授与は2名との決定がありました。この決定に関しての周知が充分でなったことお詫びいたします。今年度の第7回大会につきましてはこの後の今年度事業の報告、確認の際にご意見いただければと思います。

井田：様々な要因での変更は起こり得ると理解しておかなければならないが、変更の周知については不足無いように行わすべき。

第2号議案 定款変更(所在地)について

議長の指名により藤田理事から管理費削減を主な目的として、協会事務局を現在の千葉県松戸市から東京都中央区へ移転する事、並びに事務局移転に伴う定款第2条(事務所)の変更について提案があった。議案内容に関連しての審議がありその審議の結果、定款変更は主たる事務所の変更の登記の日から施行することとし、提案のあった「定款変更」を満場一致にて承認した。よって議長は下記のとおり定款変更することについて承認可決された旨を宣した。

<定款> (事務局)第2条 この法人の主たる事務所を東京都中央区に置く。

第3号議案 世界選手権・ジュニア世界選手権代表選手選考規程について

議長の指名により藤田理事から代表選手派遣規程の見直しについて説明があった。

主な変更点は費用負担についてであり、議案内容に関連しての審議があり審議の結果、満場一致をもって「代表選手派遣規程」の変更を承認した。

小林：厳しい状況下ではあるが、選手、関係者の皆さんには是非頑張ってくださいたい。また今年の世界選手権は、次回日本開催に向けての大切な大会であり、私と三島木理事も大会に同行する予定であります。(費用は両名とも自己負担)

(2)報告・確認事項

議長の指名により藤田理事より以下各項目についての報告、説明があった。

①4月16日～17日開催 FIS グラススキーカレンダー会議報告

FIS会議の報告があり、今年度の日本開催FIS公認レースは斑尾高原(7月16-17日)七ヶ宿(10月7-9日、全日本選手権・高円宮杯)の2会場と決定した事を異議なく確認した。

②平成23年度各事業スケジュールについて

今年度の事業スケジュールについての報告があり、体験会、ステップアップ2011、チルドレン派遣、世界選手権・ジュニア世界選手権派遣、JGSA 公認大会他各開催スケジュールを異議なく確認した。

③2013年世界選手権(日本開催)準備進行状況について(今後のスケジュール)

2013年世界選手権開催申請についての報告があり、今月開催の全日本スキー連盟理事会

の承認を経て6月開催FIS国際スキー連盟理事会に日本開催を正式に申請予定である事が報告された。またFISよりの開催承認後に実行委員会を発足する事を異議なく確認した。

小林:3月の地震により七ヶ宿スキー場も被災したようですが状況は

高橋:一部コースに損傷はありましたが、7月の営業開始までには万全の状態でご皆さんをお迎えしたいと考えている。

小林:世界的に七ヶ宿スキー場のコースはどの様に評価されているのか、参加選手数は。

藤田:約10ヶ国、100名前後の参加になると思います。七ヶ宿スキー場はこれまでの世界選手権開催地と比較しても非常に良いコースと評価されています。

④第7回都留市ジャパンジュニアについて

第6回大会における課題(表彰対象の変更)についての検討が行われ、審議の結果、表彰規程(各賞の対象)を大会要項に明記する事が異議なく確認された。また参加選手増に向けて各社員が協力する事を改めて確認した。

サンパーク都留(八代):今大会助成団体より交流会は高い評価を得ているが、参加者数(ブロック数)には厳しい意見をいただいている。参加者増に向けた活動、協力をお願いしたい。

藤田:選手への経済的な負担(遠方ブロックからの交通費他)が不参加の要因ともなっているが、費用負担してでも参加したい魅力ある大会になるよう、この大会からのチルドレン代表選手選考も継続していきたい。大会参加選手増へ皆様のご協力をお願いします。

藤田:各賞の表彰について、現状をお聞かせ下さい。

八代:各賞の表彰(文部科学大臣賞・知事賞・議長賞)についてはこれより関係団体への申請となる。最大限の努力はするが、その結果もって大会要項に表彰対象を明記する事で皆様のご理解をお願いしたい。

⑤東北関東大震災への支援(義援金募集)について

北関東大震災への支援(義援金募集)について検討が行われ、審議の結果、明日H23年5月21日の体験会会場から各協会事業において義援金の募集を行い、寄せられた義援金は宮城県へ送付とする事が満場一致にて承認された。

小林:世界中からの支援が行われているが、現状は厳しいと理解している。微力ではあるか協会としてできる事、義援金募集の内容について検討していただきたい。

井田:義援金募集には送付先の明記が重要

小林:日本赤十字社、又は宮城県にて検討してはどうか

高橋:多くの被災地域があるなか地元宮城県をその候補としていただける事に感謝したい。

小林:これまでも大会の開催を含め宮城県の皆様には多大な協力をいただいている。

さらに今年度、来年度の全日本選手権・高円宮杯、2013年世界選手権開催と今後も様々なご協力をいただく。協会の義援金募集に協力いただく皆様にも協会と宮城県七ヶ宿町の関係から「宮城県」への送付でご理解いただけるのではないかと。

⑥寄附金募集について

寄附金規程の確認と寄附金募集概要のホームページ掲載を異議なく確認した。

以上をもって議案の審議等が終了したので、16:30分、議長は閉会を宣した。

この議事録が正確であることを証する為、議長及び出席理事、並びに出席監事はこれに記名捺印する。

平成23年5月20日

公益社団法人 日本グラススキー協会
平成23年度定時社員総会

議 長 小林 英夫 印

理 事 三島木和晴 印

理 事 藤田 洋一 印

監 事 井田 敏夫 印

監 事 塚田 耕一 印